

第6回専門部会 議事録（人カテゴリー）

平成28年2月26日（金）18時30分～
登別市役所 本庁舎2階 図書閲覧室兼会議室

- ◆出席委員：斎藤 正史 委員
- 近井 一夫 委員
- 小幡 功 委員
- 垣内 登紀子 委員
- 伊奈 綾 委員
- 計5名

- ◆事務局：商工労政グループ穴戸商工労政・新エネルギー主幹
 奥田主査
 竹中担当員

- ◆議題：（1）各専門部会における具体的事業の協議

【要旨】

項目	発言者	内容
	事務局	ご多忙のところお集まり頂き、ありがとうございます。第6回専門部会を開催いたします。
	委員	<p>実施主体としてプラットフォームを構築するという、他の部会が進めようとしているものと、おおむね同じような形になりつつある。地域資源を活用するという方向性について、最終的に行きつく場所は同じだろう。</p> <p>ゼロベースで考えれば、アーニスで何かをやればすぐに効果が出るだろう。</p> <p>市役所の経済に関するセクションがアーニスに移転することで、拠点のような場になるだろう。</p> <p>室蘭市の「ぷらっとてついち」は、国の補助金ではなく民間の資金を活用して設置された施設であり、公共施設と民間のスーパーが同居している場として現在も運営が継続されている。</p>
	委員	<p>NPO法人を作ればいい。ハコモノは行政が建ててあげれば、その周囲に人が集まってくる。ハコモノは行政が作ってあげないと、人は集まらない。「何があったらいい」の議論になってしまいがちだが、せっかく良いアイデアがあっても、お金が無いと取り組めない。企業もお金を出し合うことに踏み切ることができれば、行政も地域活性化の取組を応援する観点から一部を負担することも考えるだろうし、お金が自然と集まってくる。</p> <p>広報などで、地元愛をキーワードにNPOとしてやってみませんか？と投げかけてもいいだろう。</p>
	委員	<p>組み立てていく過程で、事業化できるという段階まで詰めていくことができれば、NPO法人を作ることを投げかけた時には周囲から一定の好反応があるだろう。</p> <p>協議会や市が組立を行うことができれば、実際に行う主体として手を挙げる方が現れるのではな</p>

		いか。逆に、そこまで詰められなければ、誰も動き出すことができないだろう。
	委員	ハコモノがあったらよいという気持ちは持っているが、その財源が確保できないという点でこれまで尻込みしてしまっているだろう
	委員	<p>お金を出す以上は、その後のビジョンがしっかりしている必要がある。例えば、市内にいる人の資源を紹介する情報誌は、住民参加で取材を行い、住民のために行うべきである。</p> <p>協議会がそろそろ期限だが、NPO法人を作るという提言でもいいと思う。その目的は住民参加型のマップや情報誌を作成することを起点として、NPO法人に公募で人を集めて様々な展開を行うというものでも良いだろう。</p>
	事務局	NPO法人を周囲の皆が育てあげ、最終的に道の駅ができたときにはその運営主体となるなど、段階を踏んだ取り組みを考えてみるのも面白いだろう。
	委員	そのように進めていかないと進まない。
	委員	短期、中長期の明確なビジョンが必要だ。
	委員	NPO法人の事務所はアーニスに設定することもできる。雑誌を作るなら、食べ物屋は少なめにすべきだろう
	事務局	他の部会では、アーニスを情報発信の拠点とする場合、300万人の観光客はアーニスに来るのかという疑問が出た。ターゲットは市民なのか観光客なのかという疑問が出た。
	委員	<p>両面ではないか。絞り込む必要はないだろう。</p> <p>白老では、体験型観光の強化に力を入れていく予定であり、集客にも力を入れていくだろう。そうすると、登別が素通りの場所になってしまう。取り合いをすることはせず、共存していく方法を探るべきだ。</p>
	委員	北海道の課題として冬の採算性がある。ニセコや富良野は冬も集客が出来ている。登別の冬対策はどうすべきだろう。

	委員	伊達も、冬は越冬野菜しかない。夏に可能な限り稼ぐしかない。
	委員	<p>せっかくここまで来たら、何か成果を残したい。職を持っている人たちを集めるには、何か名目が必要だろう。事業化しないと力が入らないだろう。</p> <p>公募すれば意欲ある人が集まるだろうし、お願いすれば義務になってしまう。集め方の工夫が必要だ。</p> <p>市には第三セクターはあるのか。</p>
	事務局	ない。
	委員	他市の事例では、大手広告代理店にいた経歴を持つ方がキーパーソンとなって情報発信を行っている場合もある。中心を担ってくれる人がいれば心強い。
	委員	そのような鍵を握る人材が登別市内に大勢いる訳ではない。そのような技術・知識を持った方が移住してくれないだろうか。
	委員	NPO法人を設立するとなると、どのような作業が必要だろう
	委員	<p>地域の情報発信を住民参加型で行い、将来的な登別の発展のために寄与するなど、会社の目的を整理する。そのために、誰が代表になり、誰が出資するということを固める必要がある。</p> <p>そこに誰が入るのかはわからないが、市や商工会議所へ働きかけを行い、広告の募集などを行う流れになるだろう</p>
	委員	<p>今、登別商工会議所で「まちゼミ」事業を行っている。既存の事業とは違う位置づけを行わないと、いたずらに事業が多くなるだけだと思う。</p> <p>今回考えている取り組みは、今まで交わる事なかった業種が関わり合うものであり、新たな取り組みである。</p>
	委員	まずは事業主体を作らなければ、進まないだろう。
	事務局	本日はこれで終了します。お疲れ様でした。

